

取扱説明書

インターネット通信・制御装置

KOBANZAME08

有限会社 アイオーテクニク

〒194-0002 東京都町田市南つくし野2-28-19 Tel. 042-796-3933

目 次

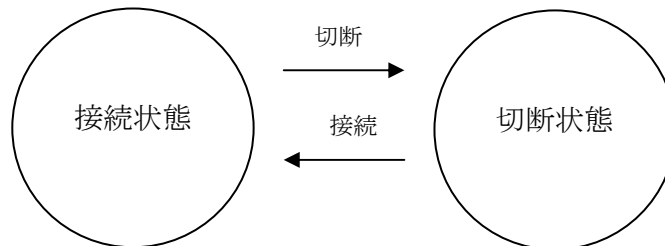
1-1. 概 要	2
1-2. 動作概要	2
1-3. データ処理	2
1-4. Web ワッチシステムの概要	3
1-5. 構成と仕様	4
1-6. KOBANZAME 外観図	4
1-7. 各名称	5
2-1. 耐圧容器の蓋を開ける	5
2-2. Power スイッチ ON/OFF	6
2-3. 本体バッテリーパック交換	6
2-4. FOMA カードの取付け	7
2-5. O リング清掃	8
2-6. 耐圧容器の蓋を閉める	8
3-1. 本体保守	8
3-2. 水中コネクタの保守	8
4-1. リチウムバッテリーパック最大動作日数	9

1-1. 概要

インターネット通信・制御装置 **KOBANZAME08** と、波高・波向・流速計 **WAVE HUNTER08** を中心とした、Web ワッチサービスは、時と場所を選ばず、携帯電話やインターネットで、現場の観測データをチェックできる海洋観測のネットワークサービスです。測定 - 収録 - 通信 - Web 管理 - 処理 - グラフ・表作成まで、独自のネットワークと技術で、一貫したきめ細かくサービスを提供できます。

1-2. 動作概要

KOBANZAME08 のインターネットとの接続状態は下記ようになります。



接続状態

KOBANZAME08 (SM-401) が、DocomoのFOMA網を利用して、インターネットとつながっている状態を指します。

この状態では、Explorer ~~4.0~~ を使用して、全世界から **WAVE HUNTER** と通信ができます。**KOBANZAME08** (SM-401) には、下記のような接続の種類があります。

切断状態

KOBANZAME08 (SM-401) とインターネットが切り離されている状態です。この状態では、通信できません。

パソコン側から接続する方法はありません。**KOBANZAME08** (SM-401) の[次の接続時刻]か、又は、**WAVE HUNTER** からの要求接続まで待ちます。

接続

KOBANZAME08 (SM-401) が、プロバイダーを通し、インターネットに接続する動作を意味します。パソコンの”ダイヤルアップ接続”と同じです。接続の手続き時間は、通常、30秒程度です。接続が正常にできない場合は、通常、1回だけ、リトライします。リトライで接続できた場合の手続き時間は、70秒程度になります。リトライでも接続できない場合は、接続の失敗になり、[次の接続時刻]まで待ちます。

切断

KOBANZAME08 (SM-401) とインターネットの接続を、切り離す動作を意味します。

1-3. データ処理

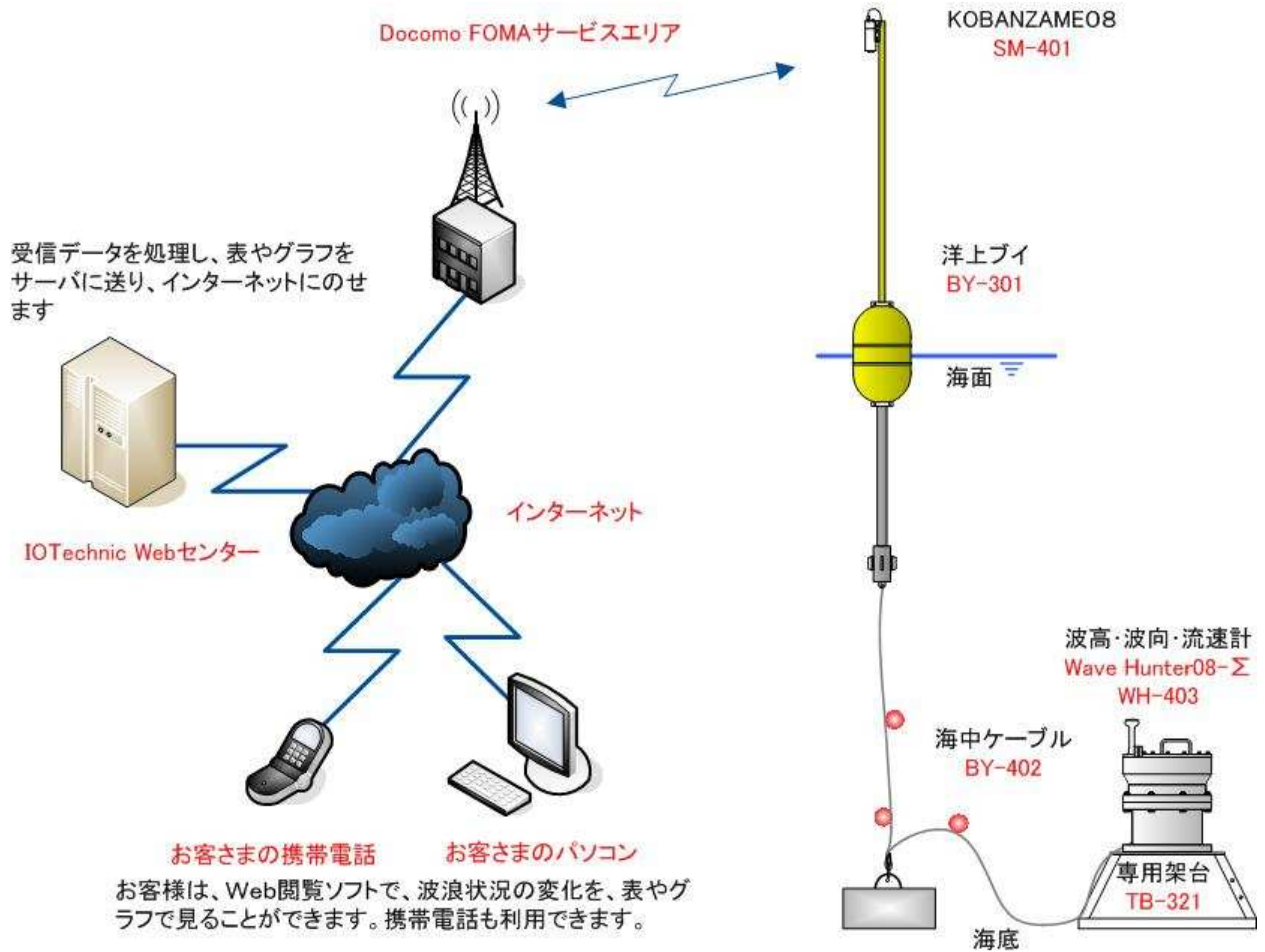
MagicProcessorK は、データ処理ソフトです。下表の結果項目を算出できます。インターネットやLANで、処理結果をアップロードできます。**WAVE HUNTER** のデータも処理できます。

波高処理項目	最高波高・周期、1/10最大波高・周期、有義波高・周期、平均波高・周期、波数、水深、 η rms、歪み度 (Skewness)、尖鋭度 (Kurtosis)、水位、長周期最高波高・周期、長周期有義波高・周期
波向処理項目	平均波向、主波向、平均分散角、方向集中係数、波峰長パラメーター
流速処理項目	平均流速、平均流向、平均E流速、平均N流速、水温
海象・気象処理項目	酸素、瞬間最大風速・風向、平均風速・風向、気圧、気温

1-4. Webワッチシステムの概要

KOBANZAME08 は、**WAVE HUNTER**から受信したデータをIOTechnic Webセンターのサーバに、直接、アップロードします。サーバは、波高、波向、流れ、水位、酸素、水温、風速などのデータを、ファイル化して保存します。サーバのデータは**KOBANZAME08 Explorer**、(別売)を利用して、IOTechnic Webセンターのサーバから、お客さまのパソコンにダウンロードできます。

IOTechnic Webセンターでは、生データや、処理結果表・グラフを、装置別に用意されているWebサイトに、アップロードするサービスも実施しております。(有料)



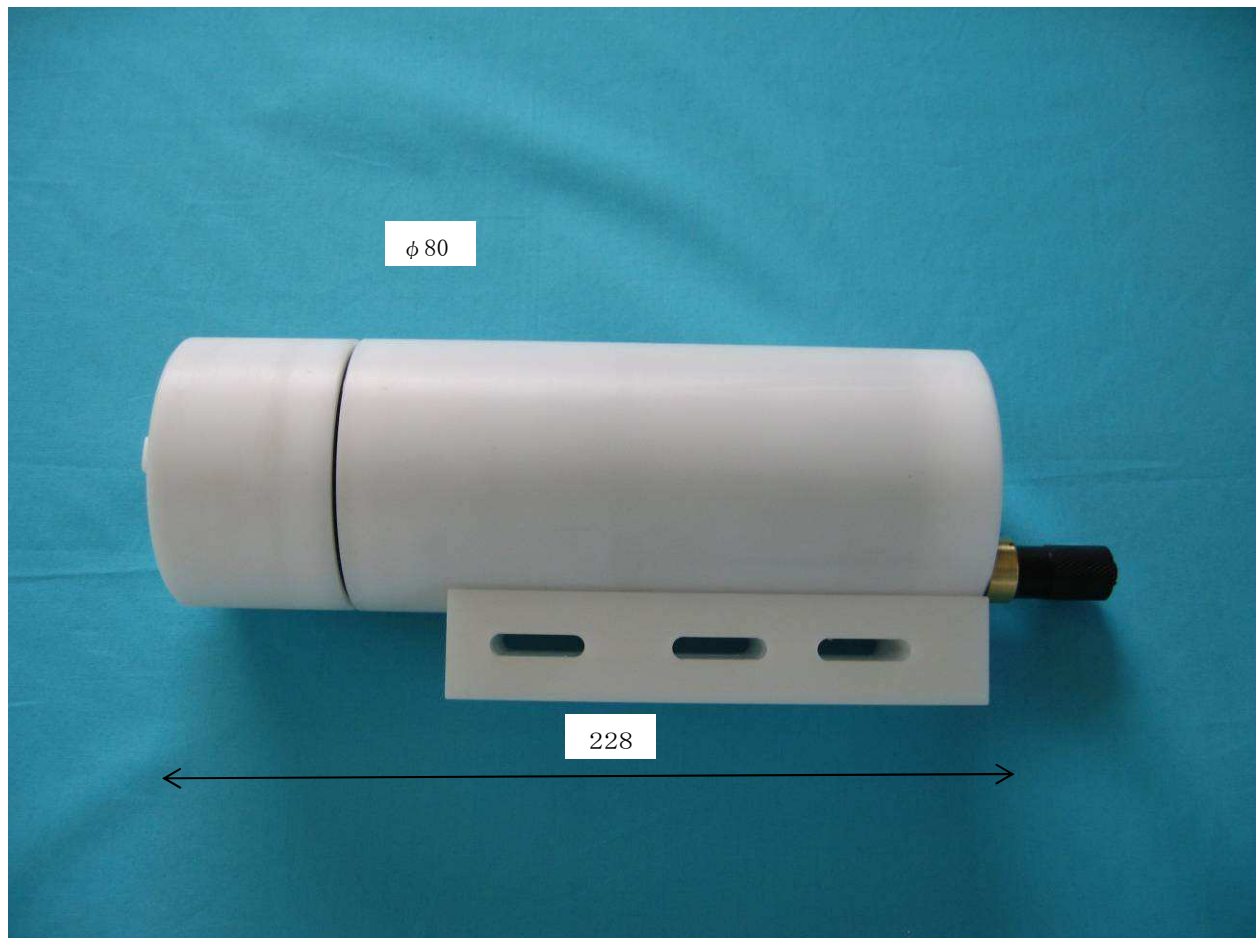
1-5. 構成と仕様

構成名称	型式	仕様概要
インターネット通信・制御装置 (KOBANZAME08)	SM-401	通信装置:UM01F(FOMA ユビキタスマジュール) 通信プロトコル IPv4:IP、UDP、TCP、HTTP、FTP、NTP、ICMP、PPP、ARP 外形寸法:228L×80φ、重量:0.5kg、材質:ジュラコン
通信・制御ソフト(別売) KOBANZAME08 Explorer	RA-623	Wave Hunter の制御、自動データ回収、生データのモニタ、Web サーバへのアップ/ダウンロードができます。 Web ワッチサービスなどのリアルタイム観測が必要です。

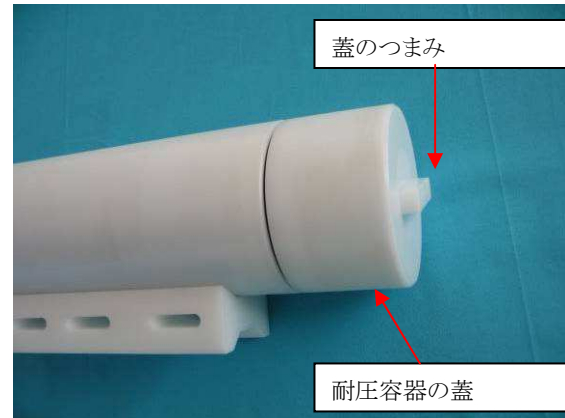
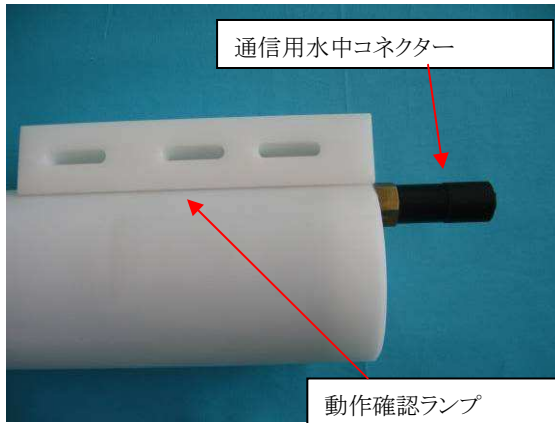
付属品・消耗品

リチウムバッテリーパック	LB-430-2	60AH、3.6V(本体用)
--------------	----------	----------------

1-6. KOBANZAME08 外観図



1-7. 各名称

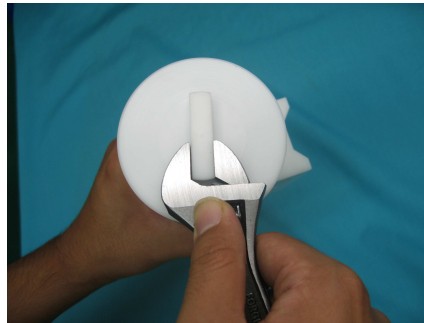


2-1. 耐圧容器の蓋を開ける

1. 耐圧容器の蓋を左回りに回して、蓋を外して下さい。



- 蓋が硬く回らない場合は、モンキーレンチで蓋のつまみを挟んで、左回りに回して下さい。

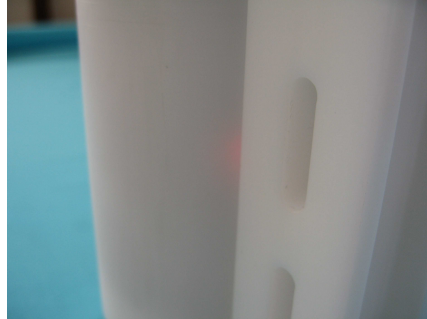


2-2. Power スイッチ ON OFF

1. スライド式のスイッチです。電源を切るときは OFF 側にスライドさせます。電源を入れるときは ON 側にスライドさせます。バッテリーを装着し、電源をONした時には、動作確認ランプが約 10 秒間点灯してから消灯します。外部の光等で見にくい場合は手や布等、外光を遮断できるもので覆って確認して下さい。



Power スイッチ



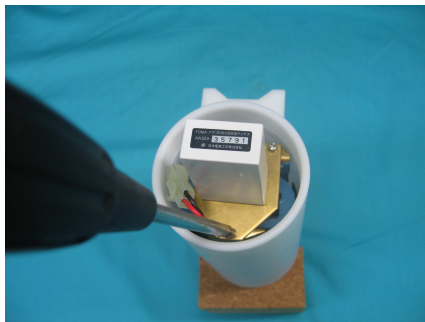
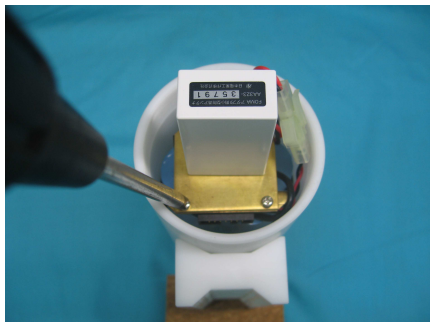
動作確認ランプ

2-3. 本体バッテリーパック交換

1. 耐圧容器の蓋を空け、本体をコルク等の上に縦に置きます。



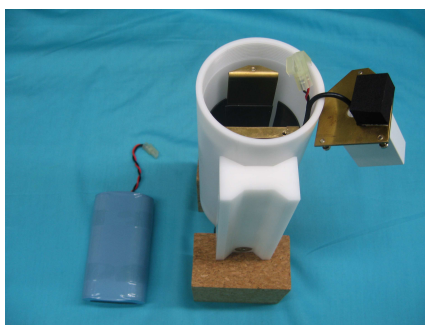
2. 3箇所（箇所）のネジをプラスドライバーで緩めて、バッテリーパック固定板を外します。



3. バッテリーパックのコンネクターを外します。本体側のコンネクターはメス、バッテリーパック側のコンネクターはオスになっています。



4. バッテリーパックを引き抜きます。



5. 交換用のバッテリーパックを用意し、本体に入れます。コンネクターをはめてください。(入る方向にしかはりません)



6. 3箇所ネジをプラスドライバーで閉めて、バッテリーパック固定板を取り付けます。
7. インターネットとの接続設定は、**KOBANZAME08 Explorer** の、ユーザーズマニュアルに従ってください。

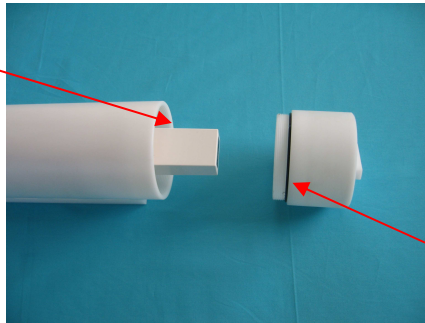
2-4. FOMA カードの取付け

1. FOMA カードの取付けは弊社で行います。
お手数ですが、FOMA カードと本体を弊社へお送り下さい。

2-5. Oリング清掃

1. 耐圧容器の蓋のOリングとその溝の、古いシリコングリスを、きれいに拭き取ります。Oリングが接する本体側も、拭き取ってください。

Oリングが接する面(本体側)

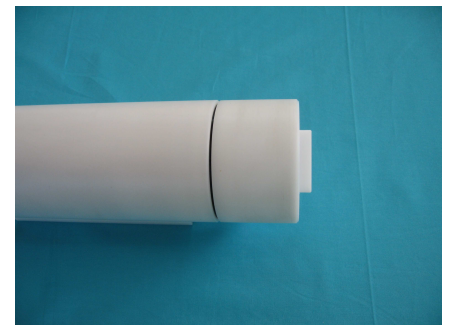
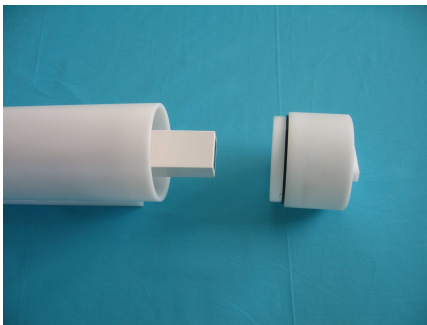


Oリング(耐圧容器の蓋側)

2. 付属のシリコングリスを、Oリングに薄く伸ばし、まんべんなく塗ります。ごみが付かないように、気を付けて、溝にはめてください。

2-6. 耐圧容器の蓋を閉める

1. 耐圧容器の蓋を右回りに回して、蓋を閉めて下さい。



3-1. 本体保守

使用後は、耐圧容器に付着した海藻、貝、泥などの汚れを落とし、水道水で洗い流して、乾燥させてから、収納ケースに入れて、保管してください。

3-2. 水中コネクターの保守

水中コネクターを使用しない時は、コネクター(オスメス共)に、必ず、ダミーコネクターを差して下さい。ダミーコネクターを差さないで、そのまま放置すると、コネクター接点の腐食が進み、使えなくなります。

4-1. リチウムバッテリーパック最大動作日数

KOBANZAME08 用のリチウムバッテリーパックは LB-430、LB-430-2 の 2 種類あり、観測用途により選択できます。

下表を参考にして下さい。

WH08-Σを使用した場合

観測モード	LB-430	LB-430-2
連続観測	80 日	160 日
20 分/60 分	160 日	320 日

WH04-Σを使用した場合

観測モード	LB-430	LB-430-2
連続観測	43 日	86 日
20 分/60 分	130 日	260 日

* 周囲の電波状況によって定格どおりいかない場合がございます。